

学校案内

琵琶湖の南端の瀬田川を下り、南郷洗堰の手前を右に折れて、なだらかな坂道を1キロ余り登りつめたところに本校はある。

背（西）に法灯1200年の歴史を持つ西国12番霊場岩間寺の鎮座する岩間山を有し、南には学校のシンボル「袴腰山（はかまごしやま）」が偉容を誇る。



東には、南郷地域の住宅街を隔てて瀬田川を眺められ、その川の向こうには田上盆地と湖南アルプスが眺望できる。



北には丘陵地の緑が茂る。本校は、なだらかな丘陵地と豊かな緑に囲まれた閑静な場所に位置している。

昭和40年代後半から、瀬田川沿いの南郷地域の丘陵地に宅地開発が進み、生徒増に伴い、昭和62年4月に旧南郷中学校（現：石山中学校）より分離し、南郷・大石小学校区を学区とする南郷中学校が創設された。

南郷・大石小学校区は、JRや京阪電車の石山駅に近く、さらに、昭和63年には京滋バイパスが全線開通したこともあって、新しい大津のベッドタウンとして発展してきた。地域住民の割合も、京阪神地域から転居してきた住民が、多くの役割を占め、地元住民の占める割合が小さくなってきた。



生徒数は、創設当時800人余りであったが、現在は500人を割り減少の傾向が進んでいる。